聊より白岩にいて御川原の左へきりくだり一里を
附帯仏羅おとれ長沼より吉田川布馬郡に
出り関山の本を西に小井塩尤の餞をとき苦
多の渡を出御原の羅宿に二泊三宿切々より
出父子と谷田兩家の添居へ進入一人も洩らさず
討入て手を降る西原の先手横手武和
大脇康次数千騎にて野田大田原に向ふと
聞へれば白川より大田原を後ろ十里ばかりに一
日にして馬へしと上杉の援軍 浅苞小火縄を
かけ矢石を乱て係々より市勝仏い今康と

あて只一騎にて白川小和田より安田上総介知元磐長潟
津月毛敏小七八騎石逃白坂を越し赤坂のうち
て打色り又白川口葦毛竜系と馬を乗り諸手大将法
相及を合戦の火蓋を切人今康と奇り正蔵
小八千にて背矢這坂の峠を越し勢を堂を張
に當て長沼小陣取奇手の先手白坂と打入をき
くと均しく長沼と三小田川布衆川を三関山を色
り先り撫手と業間おて人数を山中を抵色り
奇手の渡小おて高に出て亜に四大将四父子の
羅小へ打て出り三方より三狩を谷田和系の係